

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 西門司 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

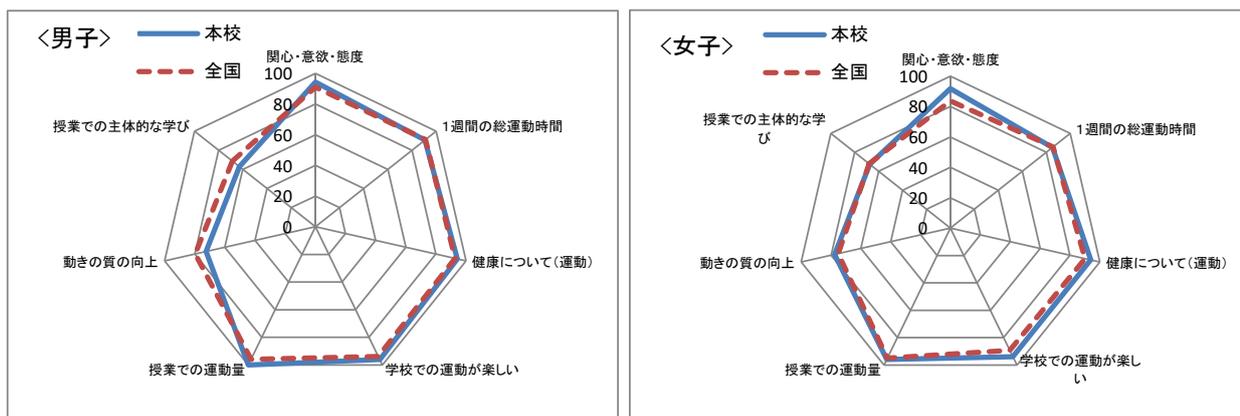
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

・本年度の上記質問紙について男子・女子ともに「授業での主体的な学び」が全国平均よりも下回っている。しかし、「体育への関心・意欲・態度」「学校での運動が楽しい」「授業での運動量」は、全国平均を大きく上回っていた。コロナ禍で体力テストに目標をもって取り組むことができなかったが、普段の学習においては、目標をもち、体育科学習に対して意欲的に取り組んでいることが伺える。

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・各担任が体育科の授業の中で、めあてを提示し、見通しをもちながら学習を行っている。
 ・また、運動にあった予備的な準備運動を行い、運動量を確保を行いながら、学習を行っている。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・体育科の学習の準備運動に「ジャンプアップ運動」を取り入れたり「『好きっちゃ』プログラム」を取り入れた学習展開を行った。コロナ禍のため2月に予定されていた持久走大会やなわとび大会は中止となったが、個人でなわとびに取り組み、体力向上に励んだ。